

『21世紀の都市像—地域を活かすまちづくり』

古今書院（2008年9月）刊

今、都市の思想が変わる・・・。

外向的開発優先からサステイナブルなまちづくりへ

人口減少、産業空洞化の大転換期、

21世紀に都市を輝かせる秘訣を紹介。

各分野の専門家が執筆。



21世紀の 都市像

—地域を活かすまちづくり—

Designing Cities in the 21st Century
Toward the Sustainable Growth of Urban Economy,
Society and Systems

近畿都市学会編

古今書院

【著者について】

- 佐々木 雅幸（ささき まさゆき）：大阪市立大学大学院創造都市研究科教授。専門は創造都市論・都市文化経済論。主な業績に『創造都市の経済学』勁草書房、『創造都市への挑戦―産業と文化の息づく街へ』岩波書店。
- 谷口 守（たにぐち まもる）：岡山大学大学院環境学研究科教授。専門は都市環境計画・交通計画。主な業績に『ありふれたまちかど図鑑―住宅地から考えるコンパクトなまちづくり―』（共著）技報堂出版。社会資本整備審議会専門委員。
- 實 清隆（じつ きよたか）：帝塚山大学人文科学部教授。専門は都市地理学・都市政策学。主な業績に『都市計画へのアプローチ―市民主体のまちづくり―』古今書院、『都市における地価と土地利用変動』古今書院など。
- 小長谷 一之（こながや かずゆき）：大阪市立大学大学院創造都市研究科教授。専門は都市経済・地域政策論・まちづくり論。主な業績に『都市経済再生のまちづくり』古今書院、『まちづくりと創造都市』（編著）晃洋書房。
- 中村 徳三（なかむら とくぞう）：大阪府住宅まちづくり部タウン推進室整備課管財グループ。専門は応用経済学。主な業績に「大阪府企業局の沿革とその事業が推進された要因と背景について」（大阪府立大学大学院経済学研究科修士論文）。
- 綿貫 伸一郎（わたぬき しんいちろう）：大阪府立大学経済学部教授。専門は地域経済学。主な業績に『都市と土地の経済学』（編著）日本評論社、『地域経済学入門』（共著）有斐閣。
- 久 隆浩（ひさ たかひろ）：近畿大学理工学部社会環境工学科教授。専門は都市計画・まちづくり・市民活動支援。主な業績に『地方分権時代のまちづくり条例』（共著）学芸出版社、『自治都市大阪の創造』（共著）敬文堂。
- 久保 秀幸（くぼ ひでゆき）：堺市建設局土木部北部地域整備事務所主査。専門は都市政策・まちづくり。主な業績に「小街路空間がもたらすまちづくり効果について―彦根市四番町スクエアの事例から―」『創造都市研究』第3号、「兵庫の観光―但馬豊岡と丹波篠山―」『まちづくりと創造都市』晃洋書房。
- 大場 茂明（おおば しげあき）：大阪市立大学大学院文学研究科教授。専門は都市政策・ヨーロッパ地域研究。主な業績に『近代ドイツの市街地形成』ミネルヴァ書房、『欧米の住宅政策』（共著）ミネルヴァ書房。
- 野口 隆（のぐち たかし）：奈良産業大学ビジネス学部教授。専門は地域経済論。主な業績に『世界都市・関西の構図』（共著）関西空港調査会、『五全総へ 関西からのメッセージ―シンクタンクによる国づくり論』（共著）学芸出版社。
- 山崎 健（やまさき たけし）：神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授。専門は都市・経済地理学。主な業績に『大都市地域のオフィス立地』大明堂、『阪神大震災からの都市再生』中央経済社。
- 高山 正樹（たかやま まさき）：大阪大学大学院経済学研究科教授。専門は経済地理学・都市地理学。主な業績に「都市経済構造の変化と中間層の成長」『アジアの大都市 3：クアラルンプール・シンガポール』日本評論社、「大阪都市圏における人口高齢化の地域的予測と高齢世帯の地域的構成」『アジアと大阪』古今書院。
- 酒井 高正（さかい たかまさ）：奈良大学地理学科教授。専門は人口地理・統計GIS。主な業績に『GIS原典Ⅰ』（共訳）古今書院、「小地域統計データを用いたGIS教育の実践」奈良大学情報処理センター年報17号。
- 碓井 照子（うすい てるこ）：奈良大学地理学科教授。専門はGIS・都市地理学。主な業績に“GIS-Based Studies in the Human and Social Science”（共著）、Taylor & Francis、『GIS原典Ⅰ』（共訳）古今書院。
- 室 雅博（むろ まさひろ）：社団法人奈良まちづくりセンター理事長。専門はNPO・まちづくり・自治体政策。主な業績に「NPOにおける人材の現状と育成・研修」『地域公共人材叢書第3巻：地域公共人材教育研修の社会的認証システム』日本評論社ほか。
- 平岡 透（ひらおか とおる）：元大阪府警察学校長。専門は防犯とまちづくり・都市安全論。主な業績に「犯罪の少ない都市づくりのための都市環境内シチュエーション分析の試み」『創造都市研究』創刊号、「都市型犯罪に対するシチュエーションモデルからみたインナーシティ住宅地の都市環境」『都市研究』第5・6号。

- 加藤 恵正（かとう よしまさ）：兵庫県立大学経済学部教授。専門は経済地理学・都市・地域政策。主な業績に『都市・地域経済の転換に係る経済地理学研究』神戸商科大学経済研究所、『都市のり・デザイン』（共著）学芸出版。
- 長尾 謙吉（ながお けんきち）：大阪市立大学院経済学研究科准教授。専門は経済地理学・地域経済学。主な業績に『経済・社会の地理学』（共著）有斐閣、『都市空間の地理学』（共著）ミネルヴァ書房。
- 牛場 智（うしば さとし）：大阪市立大学大学院創造都市研究科博士(後期)課程。専門はまちづくり・商業・流通。主な業績に「eリテイルと「新しい街」との関係」『流通研究』第11巻第1号、「都心型商店街のまちづくりにおける体験型商業モデルとソーシャル・キャピタル」『都市研究』第5・6号。
- 吉川 浩（よしかわ ひろし）：市立尾道大学非常勤講師。専門はマーケティング論・地域ブランド論。主な業績に「クリエイティブな商業とまちづくり」『まちづくりと創造都市』晃洋書房、「都市再生における小売業種の「ファッション化」現象に関する考察」『創造都市研究』第5号。
- 佐藤 彰男（さとう あきお）：大手前大学現代社会学部准教授。専門は都市社会学・情報社会論。主な業績に『テレワークの社会学的研究』御茶の水書房、『テレワーカー「未来型労働」の現実』岩波新書。
- 伊多波 良雄（いたば よしお）：同志社大学経済学部教授。専門は財政学・地方財政学・政策評価。主な業績に『これからの政策評価システム—評価手法の理論と実際—』（編著）中央経済社、『地方分権時代の地方財政』有斐閣。

【目次】

【第Ⅰ部 21世紀の都市論とまちづくり】

- 第1章「創造都市論の再構成」
- 第2章「コンパクトシティ論」
- 第3章「現代都市の土地問題」
- 第4章「21世紀の都市問題とまちづくり」
- 第5章「21世紀初頭における都市の開発利益に関する考え方」
- 第6章「21世紀型社会システムとしての住民主体のまちづくり」
- 第7章「LRTと21世紀の交通まちづくり」

【第Ⅱ部 21世紀都市の構造】

- 第8章「インナーシティ再生をめざすEU諸国の取り組み」
- 第9章「ロボット産業の振興と都市政策—大阪都心の将来—」
- 第10章「オフィス立地と都市地域構造」
- 第11章「戦後日本のニュータウンの現状と展望—千里ニュータウンを中心として—」
- 第12章「学術研究都市の創造と課題」
- 第13章「市民参加型GIS（PP-GIS）と21世紀の都市像」
- 第14章「町屋再生と景観保存—「奈良町」の事例から—」

【第Ⅲ部 21世紀都市の経済と社会】

- 第15章「犯罪からみた21世紀の都市像と犯罪のないまちづくり」
- 第16章「都市・地域再生とソーシャルイノベーション」
- 第17章「都市と文化産業—サンフランシスコ・ソーマ地区の変貌—」
- 第18章「商店街の活性化—中心都市と郊外—」
- 第19章「地域商業の活性化と社会システム」
- 第20章「途上国の都市と貧困問題」
- 第21章「地方分権と地方財政」